

第6章 後期計画への課題

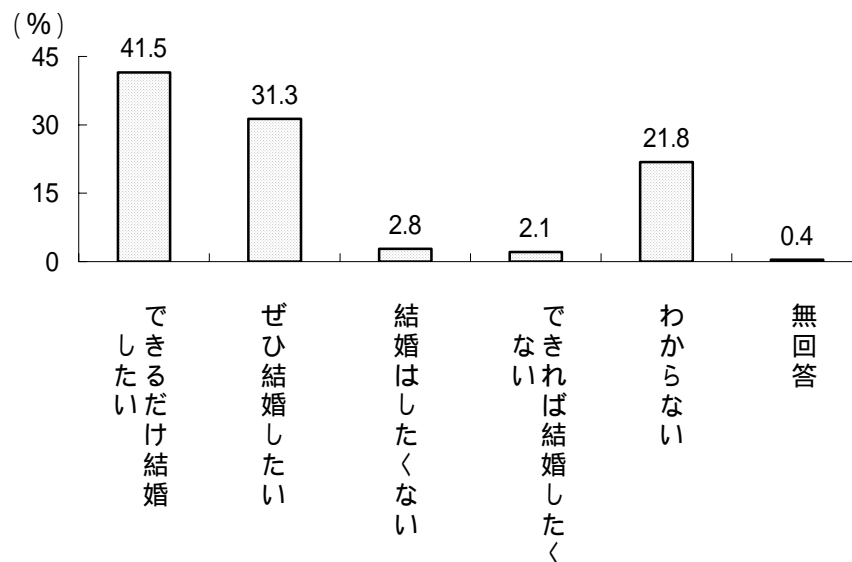
1 子育て世代となる中学・高校生の意識調査結果

平成17年度から平成21年度までの前期計画においては、いわば現役の子育て世代である就学前児童及び小学生の親からのニーズ調査結果を基にした施策について検討してきましたが、平成22年度からの後期計画では、次代を担い、その次の世代を生き育てる世代である中学・高校生への施策の展開を目指すこととします。

そのような中で、今の中学・高校生が、結婚や子育てに対してどのように考えているのかを、意識調査結果のうち、子育てに関する意識を概括します。

(1) 意識調査結果について

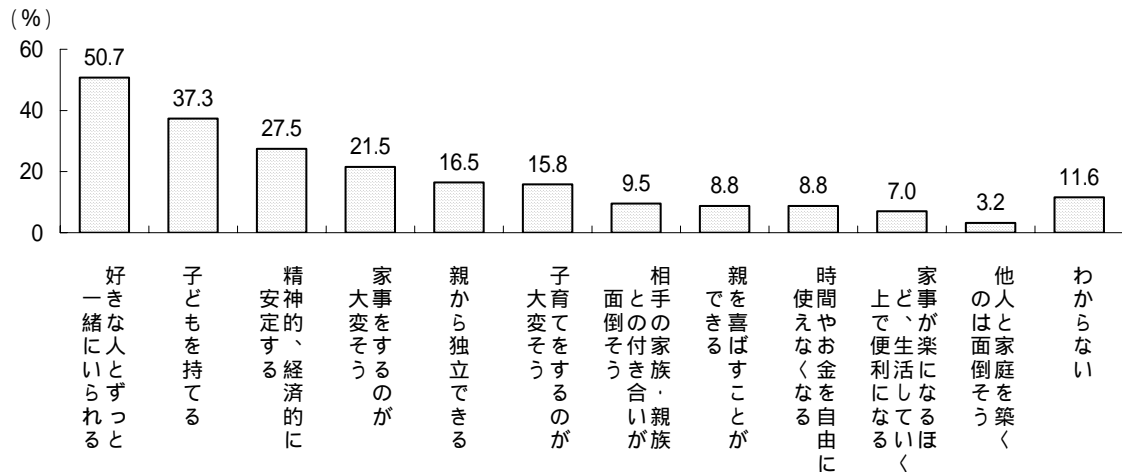
ア 結婚について



資料：伊東市次世代育成支援行動計画ニーズ調査

図24 結婚についての考え

中学・高校生にとって、結婚は「ぜひしたい、できるだけしたい」という意見が7割であり、「できればしたくない、したくない」という意見は5%程でした。しかし、「わからない」との回答が2割程あり、この回答を結婚に消極的と見ると、25%が結婚に消極的とも考えられます。



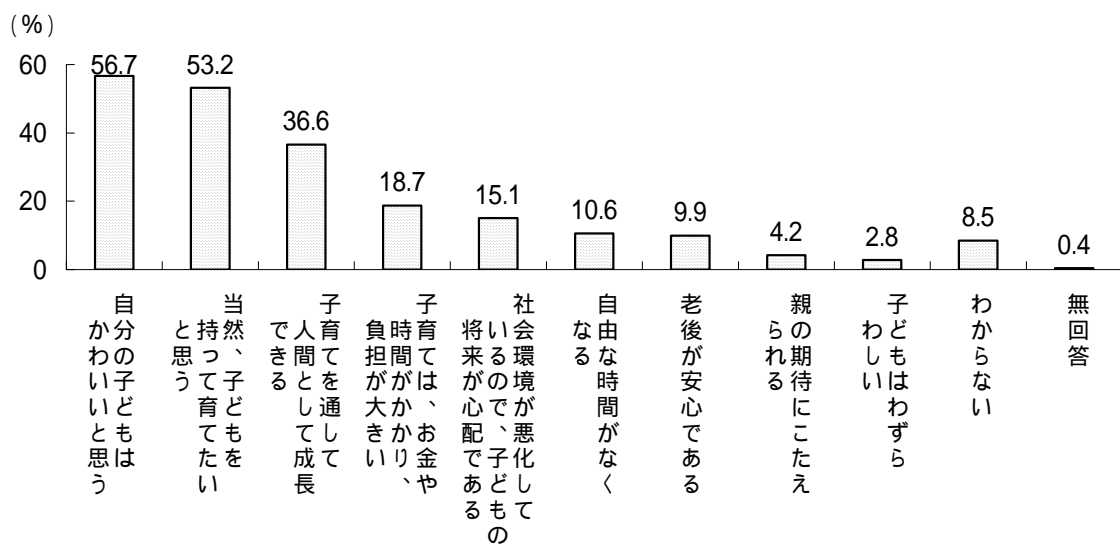
資料：伊東市次世代育成支援行動計画ニーズ調査

図 25 結婚に抱いているイメージ

また、結婚に抱いているイメージは、「好きな人とずっと一緒にいられる、精神的・経済的に安定する、子どもを持てる」などの肯定的意見が多数の中で、「時間やお金を自由に使えるようになる、家事をするのが大変そう、子育てをするのが大変そう」などの消極的なイメージを抱く者も少なくない中で、「他人と家庭を築くのは面倒そう」とか「相手の家族・親族との付き合いが面倒そう」などの、結婚に否定的とも取れる意見も見受けられます。このことは、核家族化のため少人数により成り立っている家族形態と、自分にとって居心地のよい場所が「自宅の自分の部屋」との回答が75%に及び、第三者との接触が少ない中で育っている中学・高校生にとって、どのように他人と交わったら良いのか戸惑っていることも影響しているのではないのでしょうか。

なお、全国的な晩婚化・未婚化の進行が原因と推測される25歳から29歳の未婚率が、昭和50年の男性では48.3%であったものが平成12年には69.3%に増加し、女性では20.9%が54.0%へと大幅に増加し、平均初婚年齢も男性は27.0歳が28.8歳へ、女性は24.7歳が27.0歳へと延びており、合計特殊出生率の低下へとつながっているものと推察されます。

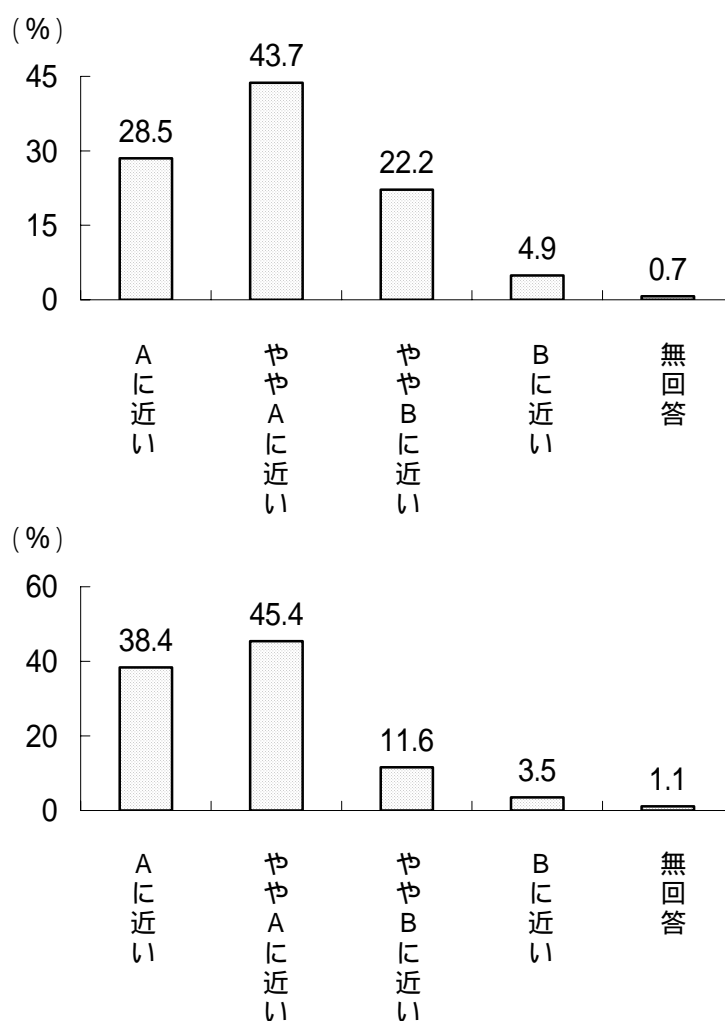
イ 子育てについて



資料：伊東市次世代育成支援行動計画ニーズ調査

図 26 子どもを持つことのイメージ

中学・高校生が子どもを持つことのイメージとしては、「子どもを持って育てたいと思う、自分の子どもはかわいいと思う、子育てを通して人間として成長できる」などの肯定的気持ちから、「子どもの自主性を尊重し、子どもを自由に育てたい」や「できるだけ子どもとの時間を多くとり」楽しんで子育てをしたいと望んでいる意見が多数を占める中で、「自由な時間がなくなる、子育てはお金や時間がかかり負担が大きい」や「社会環境が悪化しているため、子どもの将来が心配である」などの否定的又は子どもの将来を心配する意見も寄せられています。さらに、僅かではありますが「子どもはわずらわしい」との回答も見受けられました。



資料：伊東市次世代育成支援行動計画ニーズ調査

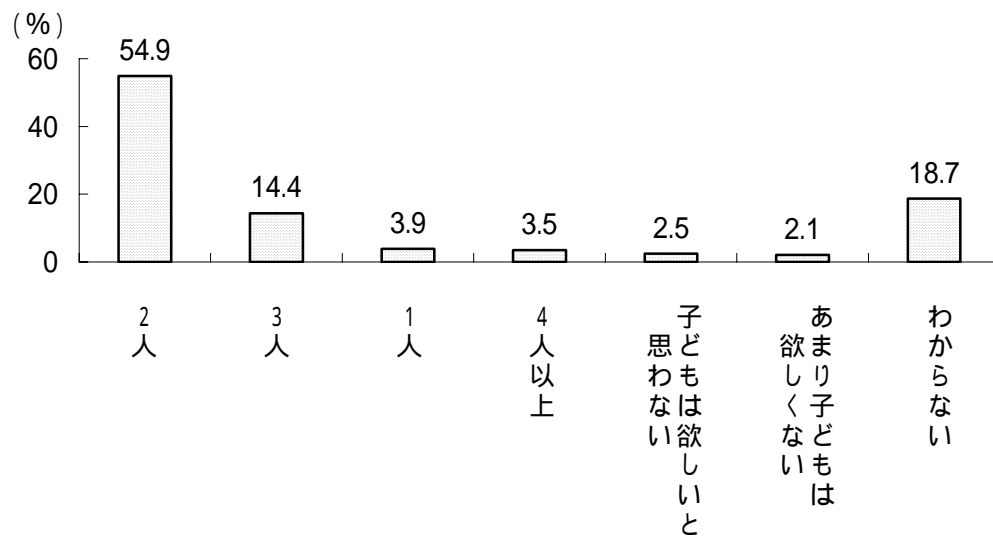
図 27 子育てについての希望

上段：A「子どもの自主性の尊重」 - B「子どものためのしつけや教育」

下段：A「子どもとの時間を多く」 - B「自分のための時間を多く」

自分が子どものために良いと思うしつけや教育をしたいと望んだり、子どもをわずらわしく思う気持ちの発露は、現役の子育て世代に見られる「子育てに自信が持てなくなったり、子育てが嫌になることがある」との気持ちにもつながり、子育て中の不安・焦燥から「カッとして子どもをたたいてしまう」親になりかねず、虐待に走ってしまう危険性をはらんでいるだけに、中学・高校生に対し虐待に関する学習の機会を設け、子育ては「つらいこともあるが、楽しいこと」または「子どもの成長が楽しみ」と思える意識の涵養を図る必要があります。

ウ 子ども数について

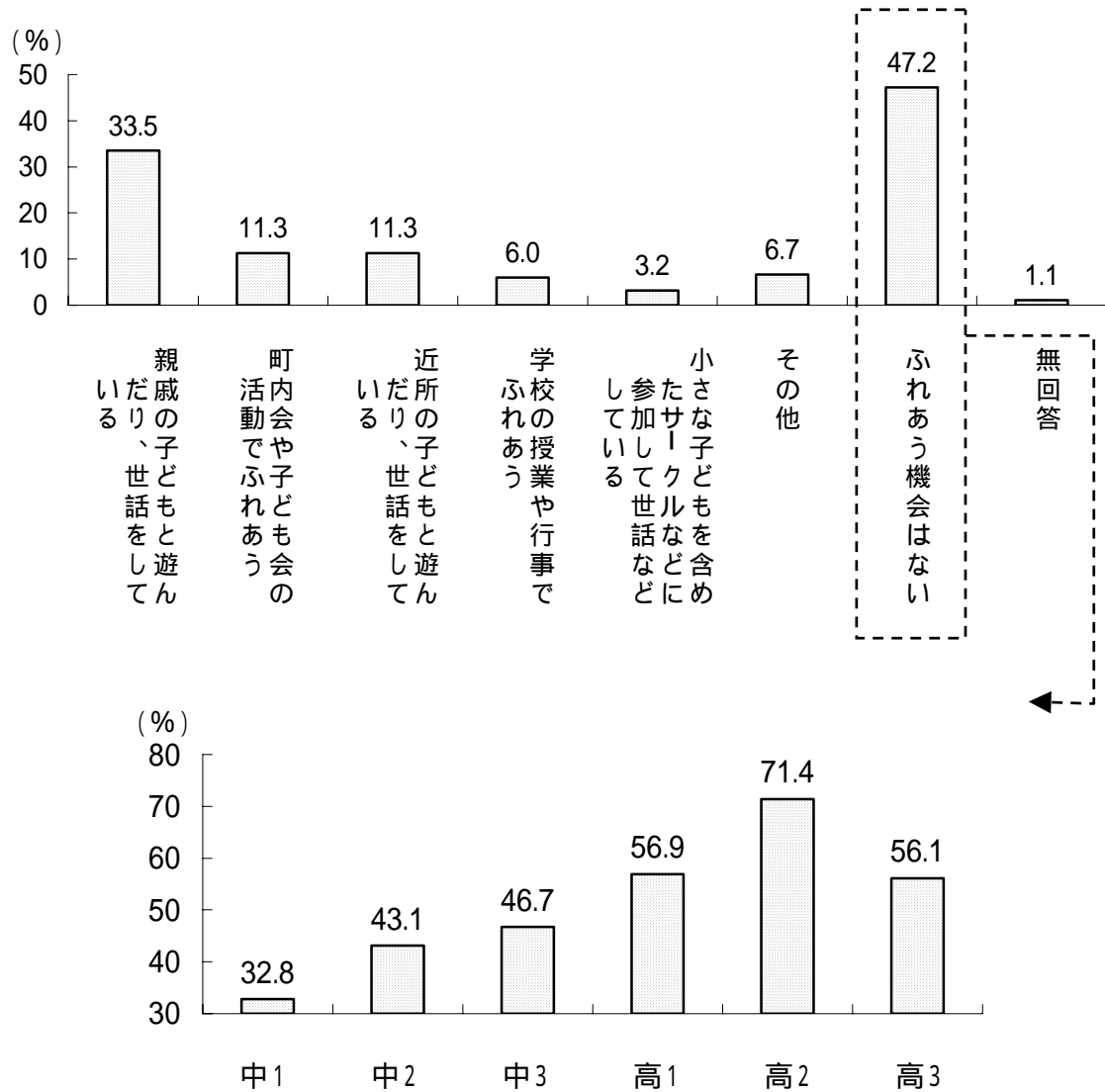


資料：伊東市次世代育成支援行動計画ニーズ調査

図 28 理想とする子どもの数

中学・高校生に対し、兄弟の数と理想とする子どもの数について質問したところ、現実の兄弟数では2人が56%、3人が26%と2人から3人の兄弟数が多数を占めています。そして、理想とする持ちたい子どもの数では、2人が55%と現実の兄弟数と変わりませんが、3人との回答が14%程に減少してしまいます。代わりに、「あまり子どもは欲しくない、子どもは欲しいと思わない」が5%弱の回答となっています。また、「わからない」というものも19%程ありました。

中学・高校生にとっては、結婚し子どもを育てるということが、未だ、現実のものとなっていないための回答ともとれますが、5%弱ではありますが、子どもを持つことに否定的な意見が寄せられたことは、少子化の社会意識へとつながってしまうものかの検討も必要と思われます。



資料：伊東市次世代育成支援行動計画ニーズ調査

図 28 小さな子どもとふれあう機会（上段）

図 29 ふれあう機会のない中学・高校生の割合（下段）

しかも、中学・高校生にとって、「身近で小さな子どもとふれあう機会があるか」との問に対し、「親戚の子どもや近所の子どもと遊んだり世話をしている」という、ふれあう機会のある者と、「ふれあう機会がない」者に半々に分かれ、学年が上がるにつれて「ふれあう機会がない」割合が高まっています。これは、受験中心の生活や同学年同士で一緒にいるという思春期特有の仲間依存、さらには核家族化なども影響しているものと推察されます。

(2) 今後望まれる施策について

中学・高校生の結婚や子育てについての意識調査を基に、今後、次代を担う「伊東っ子」を生み、育てていく中学・高校生に対する施策の中心に位置づけられるものとして、中学・高校生と乳幼児とのふれあう機会を設定する思春期保健対策や保育体験事業の中で、乳児とのふれあい体験を通して父性や母性を高め、子育てについての自覚促進や不安の解消を図る教室・講座などが求められていくものと考えられます。

特に、中学・高校生が思春期に乳幼児等とふれあうことは、子育て世代からの情報の伝達などを通して、子どもの特性を知り、将来の子育てにとっては良い経験となるものと思慮されます。

そのために、意識調査の自由回答に中学・高校生の居場所づくりを求める声が多く寄せられていますが、施設整備の検討とともに、既存の児童館やコミュニティセンター、保健センター等を活用した、子どもとふれあう体験学習のようなソフト面での施策の検討が必要であり、前期の本計画の実施に併せて研究調査を進めることとします。

(3) 意識調査における自由回答

性別	学年	自由回答
男性	中1	図書館よりも大きく、情報の多い施設がほしい。
男性	中1	お年寄りから小さな子供までがスポーツを通して、交流のできる場所がほしいと思う。(それぞれの人が歩いてこられる場所に) 室内の温水プールやスポーツの楽しめる場所。
男性	中1	この地域の歴史や環境について、学べる機会がもっとあると良い。
男性	中1	落ち着ける場所や都会風な場所(買い物、バッティングセンター、遊ぶ所)や友達といられる場所を作ってほしい。
男性	中1	もう少し、色々な人と触れ合える公園などを作ってほしいです。
男性	中1	南中の人とかとも、話したりする機会がほしいです。
男性	中1	近くに、働く場所がもっと増えれば良いと思います。家から近い所で働けるから、とても便利になると思います。
男性	中1	生徒の多くにモラルがないので、モラルがある生徒が多い市にしてほしい。
男性	中1	給食にしてほしい。
男性	中1	中学生くらいが遊べる児童館などがほしい。
男性	中1	学生だけが集まる所がほしい。公園にバスケットゴールがほしい。
男性	中1	学生などがメッセージを自由に書き込めるような掲示板がほしい。
男性	中1	なるべく、地元を離れないで働きたいです。

性別	学年	自由回答
男性	中1	戦後、教育の場がイデオロギー（特に左翼思想）の発言・実践になったが為、粗悪な国家・国民になったことに、教育に関わる者たちの猛省を願いたい。まず、学生・生徒に何かを求める前に、世間知らずの教員が世間の常識を学ぶ場が必要と考える。大学を出て、世間の厳しさを知らずして、一国一城の主（担任）になること自体、非常にいびつである。教育現場は、国家という言葉に非常に嫌う。しかしながら、家族というものを大切に教育する。この矛盾は国際的にも非常識である。国家の最小単位は個人ではなく、家族である。家族愛は愛国心であるが故に、言葉遊びはやめて真の人間を生む教育を切望する。
男性	中1	デパートがほしい。
女性	中1	新しいスポーツセンターがほしい。
女性	中1	中学校の場所を移動してほしい。もう少し、他校と触れ合う場がほしい。漢検や英検以外の資格の試験もやってほしい。校則違反の生徒への指導方法や校則の改善（必要なものと必要でないものの判断）。もう少し、生徒の意見も聞いてほしい。
女性	中1	本などがたくさん置いてある、大きな書店がほしいです。地元で働きたいので、就職しやすく、失業する人が少なくなるように、就職する会社をもっと増やしてほしいです。
女性	中1	大きい書店やスポーツ店を増やしてほしい。市役所に勤めたいです。
女性	中1	荻に学習センターがあるが、図書スペースの本（漫画）が少ないので、増やしてもらいたいです。好きな人や友達とかと部活のない日に過ごせる公園みたいなものを作ってもらいたいです。
女性	中1	新しい公民館のようなものがほしい。地元でバイトしたい。
女性	中1	お店（服・雑貨）が増えるといいなと思います。映画館もほしいです。
女性	中1	駄菓子屋がほしい。

第6章 後期計画への課題

性別	学年	自由回答
女性	中1	皆で仲良く話のできる場がほしい。トイレトペーパーなどもう少しトイレ(公衆トイレ)の設備をどうにかしてほしい。
女性	中1	伊東は田舎だし、中学生になると東京などなかなか出掛けられなくなるから、大きいショッピングモールがほしい。図書館ではなく、テスト前とかに勉強できる施設がほしいです。
男性	中2	世界中の有名な画家の絵が集まった美術館を開いてほしい。(特に駅の前)木を切らないでほしい。
男性	中2	30人以上のクラスは先生も大変だし、夏は暑く、うるさいだけなので、30人以上にはしないでほしい。広くて設備が整っていて、気軽に色々なスポーツを楽しめる場所がほしい。
男性	中2	地元で、何でもできる大きな施設を作ってほしい。
男性	中2	何も期待していない。
男性	中2	バレーやバスケも、サッカーのように中高生のクラブチームを作ってほしい。誰でも自由に使える、体育施設を作ってほしい。道路を舗装し、通学路に街灯を設置してほしい。海を綺麗にしてほしい。(市内の)学校の体育館の設備を充実させてほしい。
男性	中2	勉強が落ち着いてできるような場所がほしい。
男性	中2	他の市には中学校でも剣道部があるのに、伊東市にはないので、一つぐらい作ってほしい。通学路の危険な箇所や街灯のない場所を少しずつ改善してほしいです。年末、年度末になるといっせいに工事をするのをやめてほしい。
男性	中2	もっと色々なお店ができてほしい。工事をやめてほしい。市民体育館を作ってほしい。広い範囲で、町を不審者から警戒してほしい。海を綺麗にしていきたい。
男性	中2	百貨店がほしい。祭りの会場にゴミ箱を置いてほしい。

性別	学年	自由回答
男性	中2	学校の生活環境が悪いので、器具（理科の実験に使うのや技術の道具）を増やすなど、早い改善を求める。図書館をもっと大きくし、沼津市のように本や種類を増やしてほしい。津波対策は万全か？亀石峠と熱海へ向かう道が閉ざされてしまったら、確実に食料は届くのか？あと、年金は大丈夫なのか？（とても重要）町おこしをする気はあるのか？あるとしたら対策は？
男性	中2	中学生なのにタバコを吸ったり、酒を飲んだりする人がいるけど、注意する人がいないので、自然に周囲の人が注意できるような非行のない町を作ってほしい。学校の校舎の壁があちこちにヒビが入っているけど、大丈夫なのか？
男性	中2	市民全員や子供が楽しめる場所や自然と触れ合う場がほしい。老人と触れ合う場所・行事や観光スポットを増やしてほしい。地域行事を増やしてほしい。伊東市全体が明るくなる雰囲気を持ってほしい。
男性	中2	伊東市で、市民・観光客がもっと楽しめる施設を作ってほしい。ボランティアに関する行事を増やしてほしい。
男性	中2	宇佐美に図書館を作ってほしい。家が県道の近くにある為、暴走族がいっぱい来るからどうにかしてほしい。伊豆急線をもっと安くしてほしい。CVAをもっと活発にしてほしい。広報伊東が聞きにくい。地元で働きたい。
男性	中2	大学や映画館ができてほしい。
男性	中2	もっとデパートなどがほしい。
男性	中2	伊東市にも何か遊んだりできる場ができたらいいいと思います。そうすれば、観光客も増えると思います。

第6章 後期計画への課題

性別	学年	自由回答
女性	中2	部活動をもっと充実させたいので、体育館を広く新しくしてほしい。伊東市図書館が遠く、利用しにくいので、図書室をもっと充実させるか新しい図書館を作ってほしい。市内の小中学校をすべて禁煙にしてほしい。学校同士の交流をしてみたい。高校に通いにくいので、伊豆急線の運賃を安くするか学割を充実してほしい。学校にストーブを入れてほしい。将来について悩んでいるので、「職業体験」の場を作ってほしい。地震についての細かい知識をもっとしっかり教えてほしい。中学校でも「きてきて先生」のような事をやってほしい。もっと「性教育」について教えてほしい。中学校を給食にしてほしい。伊豆高原に公園がなく、小さい子供の遊び場が少ないと思うので作ってほしい。
女性	中2	冬になり、学校の帰り道の街灯が少なく大変危ないので、街灯を増やして下さい。
女性	中2	大きいビル(デパート)がほしい。
女性	中2	私は伊東市が大好きです。市に望む事は、海や川をもっと綺麗にしてほしい事と道路のくぼみ(通学時の雨天の時、そこに水が溜まって、車が通ると雨水がかかるから。)を直してほしいです。あと、もっと大きな公園がほしいです。
女性	中2	地域の人々や他校生と話し合う場を設けてもらい、代表者が皆から出た意見をまとめ、意見を述べ合ったり、交換できる機会を作ってほしいです。市全体で大きな企画(ボランティアなど何でも良いが)を立て、市民で協力し、何か一つの目標に向かって頑張れるような事をやりたいです。協力する事が大事だという事がわかる企画がいいと思います。あと、看護学校を作ってほしいです。
女性	中2	教室に暖房を入れてほしい。高校生で働いてみたい。通学路に街灯をもっと増やしてほしい。
女性	中2	もっと、中高生が遊べるような場所や落ち着く(安らぐ)場所を作してほしい。
女性	中2	他の地域の中学生との交流がほしい。中学生でも働けるところがほしい。

性別	学年	自由回答
女性	中2	マリンタウンは観光客のためにいいと思うが、市民のためのショッピングモール(イトーヨーカドーなどの大きい店)があればいいと思う。図書館をもう一つ作ってほしい。
女性	中2	移動図書館が中学校にも来てほしい。宇佐美中を(雨漏りとか、水道から水が出なかつたりするから)綺麗にしてほしい。
女性	中2	伊東市内に皆がいつでも遊べる場所を作ってほしい。宇佐美に大きな図書館がほしい。地域の人や他の中学生の人ともっと楽しく、触れ合える場所がほしい。
女性	中2	市全体で、子供から大人までできる活動(ボランティア、掃除、学習)などがあつたらいいと思う。伊東市は観光地だが、ごみが落ちていたり、イメージがあまり良くないので、市の方で企画などをして、ごみを拾ったりしたいです。
女性	中2	公園などがほしい。
女性	中2	中学生とかが集まる場所があまりないので、そういうのを作ってほしい。
女性	中2	ゲームセンターを作ってほしい。
女性	中2	私は伊東市のゴミについて、もっと考えた方がいいと思います。伊東市は他の市に比べて、ゴミの分別がまだまだだし、ゴミの燃やし方もいけない所があると思います。観光客が出したゴミなどもしっかり処分しているのですか？
女性	中2	冷暖房の取り付けをしてほしい。
女性	中2	学校の設備ですが、特に音楽室の設備があまりにもひどいので、しっかりとしたものにしてほしい。楽器を下さい。黒板が使いにくいです。最近、工事が多くてうるさいです。空気も嫌な感じになっているので、喘息もちには大変辛い。夜道が暗くて大変怖いので、峰方面などに外灯をもう少し増やして下さい。学校の周辺で選挙活動をされると、授業に集中できないし、先生の声も聞こえない事があるので、学力がどうか言うのなら、もう少し考えて下さい。

第6章 後期計画への課題

性別	学年	自由回答
女性	中2	部活動などで使う用具を買ってほしい。(授業も含む) 暗くて危険なので、通学路(特に細い道)に街灯を増やしてほしい。道路の押しボタン式の信号が長いので、もう少し短くできたら、してほしい。
男性	中3	道路も学校の設備ももっと良くしてほしい。
男性	中3	もっと盛んな地域にして、皆がスポーツに親しむ事ができれば良いと思う。
男性	中3	一部の場所に、サッカーやバスケができる大きなスポーツ広場を作ってほしい。
男性	中3	受験があるのでインフルエンザの予防接種をするが、値段が高いので市の方から援助をしてほしいと思います。市などで行うスポーツイベントなどをもっと増やし、市民の協力性を高めてほしいと思います。
男性	中3	学生が集う場所がほしいです。近所にコミュニティセンターがあるが、僕たち中学生がいるだけで嫌な顔をされたり、僕たちがいること事態、気に食わないようであまり気分は良くないです。
男性	中3	冷暖房機を付けるなど、学校の設備をより良くしてほしい。オレンジビーチを綺麗にしてほしい。
男性	中3	色々な仕事について知る事ができたり、調べたりする所があったらいいと思います。
男性	中3	運動公園のような場所がほしい。
男性	中3	多くの子供たちが楽しく遊べるような広い公園(自然と触れ合えるような)がいくつか必要だと思う。近所の子を見ると、遊ぶ場所がない為、道路で遊び事故が起こりやすくなっている。
男性	中3	門野中に図書館を作ってほしい。大きな公園を作ってほしい。
男性	中3	公園など遊べたり、のんびりできたりする所を増やしてほしい。
男性	中3	花笠などではなく、伊東ならではのイベントを作ってほしい。

性別	学年	自由回答
男性	中3	未成年者の喫煙を徹底して取り締まってほしい。
男性	中3	自分の好きな事が見つけれられるような「キカッケ」の場所がほしい。
男性	中3	パソコンを増やして、もっと気軽に使えるようにしてほしい。また、集中して勉強のできる空間（個室）を各学校に付けてほしい。
男性	中3	映画館や大きなデパートを作してほしい。
男性	中3	伊東に映画館を作ってもらいたい。商店街を活性化させるべき。マリントウンの風呂を安くするべき。
男性	中3	市内の児童の学力を上げてほしい。
男性	中3	地元を活性化してほしい。中高生が遊んだりする場所がほしい。
男性	中3	宇佐美をもっと都市にして下さい。
男性	中3	電車を安くしてほしい。
男性	中3	地域皆が参加でき、楽しめるような事をしてほしい。
女性	中3	バス・電車の数を増やしてほしいし、安くしてほしい。コンサート会場がほしい。富戸にファーストフード店、コンビニがほしい。
女性	中3	学生が遊ぶ場所や大きなショッピングセンターがほしい。
女性	中3	ずっと伊東市に住むと考えたら、地元では公務員がいいと思っています。なので、資料を学校に配るなど、地元の事が知れるようにしてほしいです。
女性	中3	ファーストフード店がほしい。バスや電車のダイヤを増やしてほしい。
女性	中3	あまり厳しくしないでほしい。もっと遊べる場を作してほしい。
女性	中3	市営プールをもっと大きくして、子供たちが楽しく遊べるようにしてほしい。子供たちの遊び場が少ないです。
女性	中3	部活などで使う道具を平等に提供してほしい。パソコンなど、社会に出て使える知識の授業を増やしてほしい。（ワープロ検定などの募集など）
女性	中3	図書館をもっと作ってほしいし、本も増やしてほしい。

第6章 後期計画への課題

性別	学年	自由回答
女性	中3	図書館をあと一つ増やしてほしい。
女性	中3	もっと気軽に、低料金で使える市民体育館がほしい。スポーツのできる環境であるといい。
女性	中3	皆で遊べる公園やスポーツなどができる場所をたくさん作ってほしい。町をもっと明るく、活性化してほしい。
女性	中3	高校になると給食がないから、門野中みたいに給食堂を設けてほしい。
女性	中3	小さくていいので、皆が楽しめる綺麗な公園や新しい本が入った、静かな図書館がほしい。子供が使う伊豆急線を安くしてほしい。観光ばかりに力を入れないで、森林を大切にしてほしい。
女性	中3	市内の見回り（警察・PTA）や部活動を強化してほしい。テスト前に地域の行事があると困る。公共施設の設備や通学路を見直してほしい。自主勉強時間（先生付きで）を増やしてほしい。観光地だから、もっと町を綺麗にする活動や地域のクラブ活動を増やしてほしい。電車とバスの本数を増やしてほしい。
女性	中3	小さい子供やお年寄りなどが交流できる時間やボランティア活動が少ないと思います。教育にお金をかけてほしい。
女性	中3	映画館と大きいデパートがほしいです。バス代、電車代を安くしてほしいです。
女性	中3	伊東の文化（音楽）の発展や市の中のスポーツ団体への支援をもっとしてほしい。勉強に集中できるような施設がほしい。景気が回復して、もっと働き口が増えるようになればいいと思う。
女性	中3	大きいデパートがほしいです。バス代・電車代を安くして下さい。
女性	中3	もう少し、勉強のできる場（個室）がほしいです。カウンセラーがいて、悩み相談（友達・親・身長など）ができる場所がほしいです。

性別	学年	自由回答
女性	中3	遊ぶ場所（ボーリング）やもっと大きくて、若者が好きそうなデパートを作ってほしい。老人の人たちが安心して暮らせるように、老人ホームを増やしてほしい。花火大会など盛大にしてほしい。
女性	中3	駅にある丸イスみたいな、皆でワイワイ喋れるような場所がほしい。
女性	中3	全ての学校に給食センターがほしい。どの学校の部活動にも、平等な応援がほしい。（一つの学校にだけは、辞めてほしい。）
女性	中3	もっと高校の種類を増やしてほしい。
女性	中3	皆で自由に楽しみながら過ごしたいので、そういう場所を作ってほしい。
女性	中3	熱海みたいに大きな花火大会を増やしてほしい。
男性	高1	たまり場がほしい。（冬は暖かく、夏は涼しいところ）
男性	高1	学校に噴水がほしい。テニスのオムニコートが10面ほしい。
男性	高1	交通を便利にしてほしい。
男性	高1	吉野屋など、安くご飯の食べられる場所がほしい。市役所の食堂を安くして、地域住民の憩いの場にした方がいい。
男性	高1	噴水をもっと大きくしてほしい。
男性	高1	子供が自由に遊べる場所を増やしてほしい。
男性	高1	大きい店を作ってほしい。
男性	高1	大きいショップが少ない。
女性	高1	宇佐美は勉強するような所がコミセンしかなく、伊東まで行かなければならなく大変なので、図書館などがほしい。伊東に比べて遊ぶ場所がない為、大抵の人がミニストップなどにたまっているの、遊ぶ場所を増やしてほしい。
女性	高1	噴水のあるような公園がほしい。
女性	高1	カラオケ・雑貨店など、学生が遊べる場所を作ってほしい。
女性	高1	電車の本数を増やしてほしい。
女性	高1	環境豊かに。
女性	高1	学生が集まるような場所がほしい。もっと働きたくなるような会社を地元で作ってほしい。

第6章 後期計画への課題

性別	学年	自由回答
女性	高1	もっとしっかりした医療設備を整えてほしい。学校のあり方について。
男性	高2	遊ぶところがほしい。
男性	高2	小さい子供が遊べるような公園が少ないので、寂しい気がする。道路とか凄く危険なので、注意を呼びかけてほしい。
男性	高2	もっとイベント会場を増やしてほしい。
男性	高2	市街地が辛気くさい。
男性	高2	映画館、大きなデパート、保育園、カラオケ、公園、大きな書店などがもっとできたらいいなと思います。
男性	高2	テニスコートやバスケットができる所とか、もっと運動場の施設を増やしてほしい。そういう所が伊東市も熱海市も少なすぎると思う。
女性	高2	図書館とネットカフェがほしい。
男性	高3	公園を多くし、そこにバスケットゴールがほしい。外国人とのコミュニケーションができる機会をもっと増やしてほしい。図書館を増やしてほしい。伊東市の自然を大切に、建物などで破壊しないでほしい。
男性	高3	期待していない。
男性	高3	旧市街地に大きい書店を作ってほしい。
男性	高3	映画館など、観光客が来て楽しめそうな施設や定期的に熱海に負けないくらいのイベントをたくさんやって、伊東市を守ってほしい。地元で働きたい。
男性	高3	お金がかからない、子供たちが自由に遊べる場所の増築。
男性	高3	受験生が夜間、利用できる施設を今後の生徒の為に開放して頂きたいです。
男性	高3	自分が読みたい本(中国史とか)があまりなかったりするので、伊東市立図書館の蔵書をもっと増やして下さい。選挙の時、鎌田会館に階段がある為、おばあちゃんが「足が悪いので行けない」と言っていました。おばあちゃんみたいなお年寄りも大勢いると思うから、選挙会場からは階段をなくした方が良く。選挙の時、うるさいし、気が散るから学校の前を選挙カーを走らせないで下さい。

性別	学年	自由回答
女性	高3	映画館がほしい。
女性	高3	もう少し、市全体の小さな子から高校生までが関われる行事がほしい。
女性	高3	図書館を大きくしてほしい。海が汚いので、遠いけど白浜へ行ってしまう。
女性	高3	近場にスポーツジムなど、運動がたやすくできる場を設けてほしい。
女性	高3	お父さんとお母さんが一生懸命働いて納めている税金なので、無駄使いはしないでほしい。伊高生がもっと勉強を頑張る為には、環境をもっと整えるべき！！（特に冷暖房完備）
女性	高3	市の文化面の充実と学力向上を望みます。また、競輪や市とは無縁の祭りは廃止してほしい。
女性	高3	幼稚園では紙芝居やおもちゃを新しいものにして、小中学校では雨漏りなど、もう少し学校や幼稚園の設備を良くしてほしい。図書館ですが、テスト期間中は混んでいて勉強できないので、個人机を増やしたり、静かに勉強や読書ができるようになればいいと思う。
女性	高3	歩道が狭い。年末や年度末あたりになると、道路工事をやりすぎ。気軽にできるボランティア活動とかの場を増やしてほしい。図書館が小さい。
男性	無回答	図書館の増設（蔵書を増やす）

2 幼稚園と保育所の連携について

(1) 幼保（幼稚園と保育所の）一元化についての経過

国民の就労意識や生活様式の変化に伴う保育需要の高まりは、保育所入所を希望しても入所できない、いわゆる「待機児童」が発生するという問題となって現れています。

国では、保育所が厚生労働省の所管であり、幼稚園が文部科学省の所管と分かれている中で、幼稚園と保育所の一元化について、昭和50年11月から検討してきた結果、昭和56年に幼稚園と保育所の目的・機能が異なるため一元化は困難と判断しました。しかし、同じ地域内にある幼稚園と保育所が、教育・保育内容を情報交換して実態面での両者の連携を求めていくことは了承しましたが、実施されている市町村は限られた数になっています。

本市においても、昭和53年に「伊東市幼児施設連絡調整協議会」（教育委員会主管）が設置され、公立幼稚園と保育所における幼児の教育及び保育の調整を図るべき検討会が開催されてきましたが、昭和54年9月に中間答申として国と同様の見解やそれに伴う環境整備に困難さがあることを理由に、国の動向を注視しつつ、更に、本市の問題点をより深く掘り下げて調査・研究を重ねていくものとなりました。その後、昭和57年5月の第18回協議会以降は、未開催となっています。

(2) 幼稚園と保育所の取組について

これらの経緯を背景に、本市の幼稚園行政では、幼稚園教育振興計画策定懇話会の答申を受け、平成11年度から3歳児保育が試行されることとなり、平成11年度の川奈幼稚園を皮切りに、平成12年度2園、平成13年度3園、平成14年度1園、平成15年度2園、平成16年度3園、平成17年度1園（予定）と、順次、取り組みがなされてきています。しかし、その間にあっても、保育所における待機児童の解消には至っていないのが実情であります。このため、平成13年度には、国の少子化対策臨時特例交付金を受けての、本市南部地域への保育所建設や荻地域への民設民営保育所建設への補助などにより、平成14年度には2保育所が新たに開所したにもかかわらず、市民の潜在的な保育需要が顕在化し、新たな待機児童の発生へとつながってしまいました。そのような状況を受け、平成17年度には、認可外保育所の認可化により新たに

1 保育所が開所し、待機児童解消が期待されるところとなりました。

また、一方では、在宅の子育て中の保護者（主に母親）の育児不安や悩みに対応するため、地域子育て支援センターが市内4か所で開設されるとともに、0歳児保育や休日保育、延長保育にも取り組んでいます。

（3）今後の取組について

国の動向や本市の幼稚園と保育所の整備状況を踏まえ、今後の対策として、国の動向を踏まえての幼保の一元化も視野に入れ、それぞれの施設の設置目的や機能などの特性を生かした連携を模索し展開していく方策の検討が必要です。

その一例としては、幼稚園での預かり保育や延長保育の実施に際し、保育所からの保育士の派遣や、保育所での3歳児以上の児童に対する幼稚園教諭の派遣等、幼稚園と保育所との人的交流と連携などを図っていくことも考えられます。

そのような中で、今後の施設建設や改築に向けては、就学前の子どもの育成を一貫して支える視点から、0歳児から2歳児については、親子登園や親子の交流場所の提供などを通じた親子の利用に供しつつ保育を行い、3歳児から5歳児へは幼児教育・保育を行うことができるような、保育と教育の一体的施設などの検討を後期計画に向けて継続していくこととします。